

4-4

きょう土の^{でんとう}伝統・文化と^{せんじん}先人たち

(1) ^{のこ}残したいもの・^{つた}伝えたいもの

つかむ

つよしくんのクラスでは、千葉県にある
^{ねんちゆうぎやうじ} 年中行事・^{ぶんかざい} 文化財を調べてみました。



千葉県にはいろいろな年中行事や
文化財があるんだね。



ほけきやうじ ごじゆうのとう
法華経寺五重塔
(市川市) 1622年



かとりじんぐうほんでんろうもん
香取神宮本殿楼門
(香取市) 1700年



きらいごう
鬼来迎
^{よこしばかり} (横芝光町) 鎌倉時代～



じんやじ
神野寺表門
(君津市) 1504年



もな いち
茂名の里芋祭り
(館山市)

【ことば】

^{ねんちゆうぎやうじ}
・年中行事

毎年決まった時期
に行われる儀式やお
祝いなどの行事。

^{ぶんかざい}
・文化財

^{れきしてき} 歴史的にみて、^ね 値
打ちの高い^{げいゆつ} 芸術品、
^{たても} 建物、音楽など。

^{しりやうていきやう}
資料提供

香取市・館山市
君津市・横芝光町
南房総市



南房総地方のミノコドリ
(館山市、南房総市)



しらまつり
白間津のオオマチ行事
(南房総市) 901年～

さわら だいさい
佐原の大祭

1721年～

佐原では夏と秋にお祭りが行われ、あわせて「佐原の大祭」と呼びます。大祭の時、おはやしの音楽に合わせて、歴史上の人物などの人形に、二重の台と車輪をつけた「山車」がまちの中を練り歩きます。この行事を「山車行事」と呼びます。



古い記録に残る山車行事



大祭に訪れる観光客数(人)

平成25年	822,000
平成26年	817,000
平成27年	758,000
平成28年	747,000
平成29年	617,000
平成30年	748,000
令和元年	540,000



写真：香取市ホームページ



大きな山車だね。観光客もたくさん来ていて、もり上がっているね。

佐原の大祭は300年も続いているんだね。すごいね。



つよしくんたちは県内の年中行事から「佐原の大祭」を選びくわしく調べることにしました。

佐原の大祭は、どのようにして300年も前から大切に受け継がれてきたのでしょうか。



さわら
地図帳で佐原地区
かとり
のある香取市をさが
してみよう。



かとりし さわら ちく
香取市佐原地区を歩くと、今でも古
い町なみが残っていることに気がつき
ます。つよしくんたちは、町にある水
郷佐原山車会館の方から佐原の大祭の
歴史を聞きました。

水郷佐原山車会館の人の話



てんじ
展示室の様子

佐原の町は、昔から利根川の水運のおかげでおいに栄えました。江戸
時代に、町の八坂神社と諏訪神社で、健康・
安全や豊作を願う祭りが行われ、みこしに
加えておどりなどが行われるようになりました。そこで使われた山車が、現在の山車行事のもとになりました。



祭りの時には、高さが4メートルにもなる山車をひいていきます。山車は佐原の町の各地区に1台あり、全部で24もあるのです。大きな山車が連なって佐原の町を練り歩くのはとても
ゆうそう
勇壮ですよ。

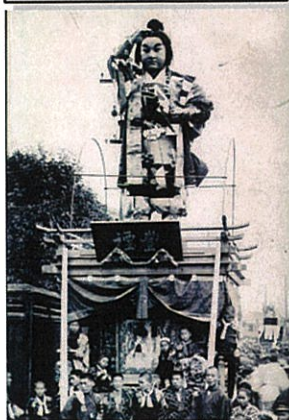
佐原の大祭（山車行事）の歴史

- 1714年 佐原の大祭（夏祭り）のもとになる八坂神社の祭りにおどりや獅子舞が登場する。
- 1721年 佐原の大祭（秋祭り）のもとになる諏訪神社の祭りが行われる。※
- 1804年 現在のような山車をひく形の祭りに～29年なる。
- 1948年 佐原ばやしの保存活動が始まる。
- 1955年 佐原ばやしが県無形民俗文化財に指定される。
- 2004年 佐原の山車行事が国の重要無形民俗文化財に選ばれる。
- 2016年 佐原の山車行事がユネスコの無形文化遺産に選ばれる。

※ 八坂神社の祭りの後、諏訪神社の祭りが行われ、その後あわせて大祭として続いたことからこの年が「佐原の大祭」の始まりとされています。

山車の人形はもともとは手作りのかんたんなものでしたが、ある町が大てんぐの人形をつくり山車にしたところ大ひょうばんになりました。その後、他の町もさまざまな人形を山車にしてひくようになりました。

大正時代の山車行事の様子



佐原の大祭で行われる山車行事は、長い歴史と保存の努力が認められて、ユネスコの無形文化遺産に登録されました。

つよしくんたちは、保存の取り組みについて、香取市役所の方に話を聞きました。

ユネスコ無形文化遺産登録認定証

国連教育科学文化機関（ユネスコ）が、人から人へと伝える祭りや芸能、伝統工芸などを認定、登録しています。登録認定証の中央に Yama, Hoko, Yatai, float festivals in Japan（日本の山車行事）の文字が読めます。

香取市役所の方の話

市では、地域の人たちが山車や用具の修理・保存をしたり、山車行事を続けていったりできるよう、アドバイスや支援を行っています。また、山車行事に関わる研究をして、記録したことを保存します。ホームページなどで情報を発信し、多くの人に知ってもらおう努力をしています。



つよしくんたちは、^{ちいき}地域の^{ひとびと}人々が^{だし}山車行事の^{ほぞん}保存についてどのような活動を行っているのか調べてみました。

佐原ばやし保存会の方の話

佐原ばやしは日本三大ばやしの一つで、美しいメロディーを主体とした音楽です。演奏する楽器は^{たいこ}笛、^{がね}太鼓、^{こうせい}すり鉦で構成され、^{わがっき}和楽器のオーケストラといえます。

佐原ばやしは、一時、^{わかて}若手の^{にな}担い手^てが減り、なくなるおそれがありました。が、^{たからもの}町の宝物を^{うしな}失いたくないという願いのもと、1948年、佐原ばやしの保存活動がはじまりました。1955年には^{むけいみんぞく}県無形民俗文化財に指定され、^{こんにち}今日では、佐原を中心に^{だんたい}23団体・^{やく}約500名が佐原ばやしの^{つと}保存に努めています。



佐原ばやし

すり鉦
摺り鉦

水郷佐原山車会館の方の話

佐原の山車の上には、大きなかざりものが乗っています。神話^{れきし}や^{だいざい}歴史上の人物を題材にした^{おおにんぎょう}大人形や、^{たか}鷹や^{こい}鯉の^{ざいく}わら細工です。祭りが続けられる中で、^{つづ}地区ごとの大人形がつくられてきました。

大人形は、^し人形師という職人の手によってつくられました。古いものは200年も前につくられ、^{しゅうふく}修復を重ねて今日まで大切に使われてきました。

鷹や鯉のわら細工は、地区の人々が大人から子どもまでみんな



鷹のかざりもの



鯉のかざりもの

で手作りしています。^{いな}鷹は稲わら、鯉は麦わらを用いて大きなかざりものにします。

昔から受け継がれてきたかざりものは、地域の^{つと}人々の自まんでもあります。



おかめさんの大人形

写真・資料：香取市より

山車を作る職人の方の話

^{わたし} ^{せんぞ}
私の家は先祖の代から山車を作っています。多くの人の目に
ふれる山車を作るとはとても^{こうえい}光栄です。ひく人がひきやすく
て、長持ちする山車を作るため、^{ざいもく} ^{しゅるい} ^{せいしつ}
材木の種類や性質を生かす
ことが大切なんです。私が作った山車が、これから何百年も地
域の人に受け継がれるといいです。

山車を作る



佐原山車行事^{でんしやう}伝承保存会の方の話

佐原の山車行事は、年長者から^{わかもの}若者へと受け継がれて今日まで続いてきました。
子どもたちは大人が山車をひく姿を見るのを^{すがた}楽しみにしています。佐原ではみな
さんと同じ小学生も祭りに^{せっきよくてき} ^{さんか}
積極的に参加しているのですよ。この祭りがこの先も
ずっと続くよう願っています。



地域のさまざまな人々が山車行事の保存
のために努力しているんだね。



小学生は、どんな活動をしているのかな。



◀ きょう土芸能部
練習の様子

祭り当日
発表の様子



校長先生の話

佐原小学校には、
佐原ばやしを練習
する^{げいのう}きょう土芸能
部があります。



^{ほうかご}
放課後には笛や太鼓などの音
がよく聞こえてきます。佐原の
^{たいさい}
大祭が始まるころには、練習に
も力が入ります。

地域の大切な祭り、文化を次
の世代につなげていくことは、
子どもたちにとって大切な学習
となっています。

小学生の話

お祭り当日は、^{おおぜい}
大勢のお客さ
んの前で、練習したことを発表
できるのでうれしいです。地域
の方々に^{よろこ}
喜んでもらえて、また
練習をがんばろうという気持ち
になります。

まとめよう・つたえよう

さらだし
佐原の山車行事が
300年も大切に受け継
がれてきた理由を新聞に
まとめてみましょう。



300年 続く! 佐原の大祭

佐原の大祭 新聞

皆で守ったお祭

私は佐原の大祭が
三百年続く理由を
調べて
みました。

1.香取市役所の協力
・山車・用具の
修理保存への支援
・山車行事の記録

2.地域の人の協力
・山車の手作り・修理
↑佐原ばやし保存会
・佐原ばやしの保存活動
(500人が参加)

3.地域の職人さん
が引きやすく
長もちする
山車を作る
⇒ 300年 続いた!

4.文化遺産
に登録
されました。

5.郷土芸能部
大祭に向け
笛や太鼓を
練習しています。
演奏で祭りを
盛り上げて
いきます。

6.感想
私はこの学習で
佐原の大祭には
色々な人々の
協力がある事が
分かりました

調べると、市役所・
地域の人の協力で
守られている事が
わかりました。
そして佐原の大祭は
2016年にユネスコ無形
文化遺産
に登録
されました。

佐原小学校には
郷土芸能部が
あります。
大祭に向け
笛や太鼓を
練習しています。
演奏で祭りを
盛り上げて
いきます。

いかそう



これは市川市、行徳のお祭りです。秋のほうさくを
いろうもので100年以上も前から伝わっています。



中台製作所の方の話

行徳でみこしを作り続けることで市川、行徳を
もり上げていければいい
と思っています。



ねんちゅうぎょうじ ぶんかざい
市川市の年中行事・文化財



北国分・あたご神社のイチヨウ



こうのだい つしぎ
国府台・辻切り



こまがた
大野・駒形大神社 おびしや



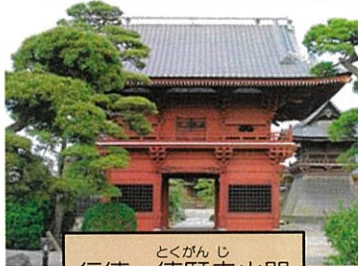
真間・とうろう流し



すわ おんばらさい
平田・諏訪神社御柱祭



やわた かつしかはちまんぐわはつうさい
八幡・葛飾八幡宮初卯祭



とくがんじ
行徳・徳願寺山門



かとうけいじゅうたく
行徳・加藤家住宅



ほけきょうじ ほっけどう
中山・法華経寺 法華堂



じょうやとう
行徳・常夜灯

この他 年中行事・文化財

北方	だんご 団子あげ
真間	ほおすき市
中山	とりの市 など
ほりのうち 堀之内	かいづか 堀之内貝塚
かしわい 柏井	うばやま 姥山貝塚
行徳	みょうこうじ 妙好寺山門 など

わたしたちの住む市川市にも、昔から続く年中行事や文化財があります。他にもあるか、調べてみましょう。

